

事例 12 「社会貢献の森」における植樹活動

(九州森林管理局 鹿児島森林管理署)



- 鹿児島県霧島市(きりしまし)
- 社会貢献の森「かごしま持続可能な次世代の杜(もり)」協定調印式の様子(令和4年8月)

- 鹿児島県霧島市霧島山(きりしまやま)国有林
- 植樹祭の植付の様子(令和4年11月)

鹿児島森林管理署は、令和4年8月、様々な業種の企業等で構成される「かごしま持続可能な次世代の杜協議会」と社会貢献の森「かごしま持続可能な次世代の杜」協定を締結しました。同協議会は、霧島山に広葉樹等を植栽することにより多様性のある豊かな森林の整備と保全を行うこととしています。令和4年11月には、協定箇所において、同署、鹿児島県、同協議会等による植樹祭が開催され、緑の少年団や森林ボランティア団体など270名が参加し、ヤマザクラ、イロハモミジ、ヤマボウシなど11種類の苗木2,000本が植えられました。

今後、同協議会は下刈り等の保育作業や歩道整備等を実施することとしており、同署では技術指導や助言等を行っていきます。